



平成 27 年 4 月 30 日
日本原子力発電株式会社

平成 27 年度 東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画について

当社は、本日、原子力施設周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書（安全協定）に基づき、平成 27 年度の「東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画書」を関係自治体へ提出しました。

提出した「年間主要事業計画書」の概要は、別紙のとおりです。

（別 紙）

平成 27 年度 東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画書の概要

以 上

平成 27 年度 東海発電所・東海第二発電所の年間主要事業計画書の概要

1. 主要事業の概要

(1) 東海発電所

熱交換器の解体撤去等、引き続き廃止措置工事を安全第一で着実に実施・継続する。また、低レベル放射性廃棄物のうち放射能レベルの極めて低いもの（L3）の埋設施設の設置に関しては、地域の皆様のご理解を得ながら、必要な手続き等具体的計画の実施に向けて取り組む。

(2) 東海第二発電所

平成 23 年 5 月 21 日から第 25 回定期検査を実施しているが、停止期間が長期化していることから、原子炉施設保安規定に基づく保全計画を策定し、発電所機器の維持・管理に努めている。

また、発電用原子炉施設の「新規制基準」への適合性について、昨年 5 月 20 日に原子力規制委員会へ設置変更許可申請書を提出した。今後も審査に適切に対応するとともに、審査状況等を踏まえ、基準に適合すべく関連設備の工事を進める。なお、審査内容や結果等については、地元自治体及び地域の皆様に対して誠意をもって十分に説明していく。

2. 平成 27 年度の東海第二発電所の運転計画

・発電電力量：未定

・定期検査：平成 23 年 5 月 21 日開始

（燃料装荷時期及び定期検査終了日は未定）

3. 主な工事等

(1) 東海発電所

1) 廃止措置工事

熱交換器等の撤去工事を継続する。「放射性物質として扱う必要のない物（クリアランス物）」については、引き続き再生利用等資源の有効活用に取り組んでいく。（添付資料－1 参照）

2) 低レベル放射性廃棄物埋設施設の設置

放射能レベルの極めて低いもの（L3）の埋設施設の設置に関しては、地域の皆様のご理解を得ながら、必要な手続き等具体的計画の実施に向けて取り組んでいく。

・埋設事業許可申請 平成 27 年度（予定）（添付資料－2 参照）

(2) 東海第二発電所

1) 使用済燃料乾式貯蔵設備の増強工事

貯蔵容器 24 基中 17 基の製作が完了しており、今年度は第四期工事分の貯蔵容器 4 基ならびに第五期工事分の 2 基について製作を継続する。

2) 新規制基準の適合性について（安全対策設備の設置）

新規制基準への適合性については、自治体及び原子力規制委員会の審査等に適切に対応するとともに、審査状況等を踏まえ、基準に適合すべく関連設備の工事を進める。（添付資料－3，4，5参照）

4. 燃料等輸送計画

(1) 新燃料、使用済燃料

・輸送計画はない。

(2) 低レベル放射性固体廃棄物

・輸送計画はない。

5. 添付資料

添付資料－1 東海発電所 廃止措置実施状況

添付資料－2 東海発電所 低レベル放射性廃棄物埋施設設概要

添付資料－3 東海第二発電所 安全対策設備の設置例（防潮堤）

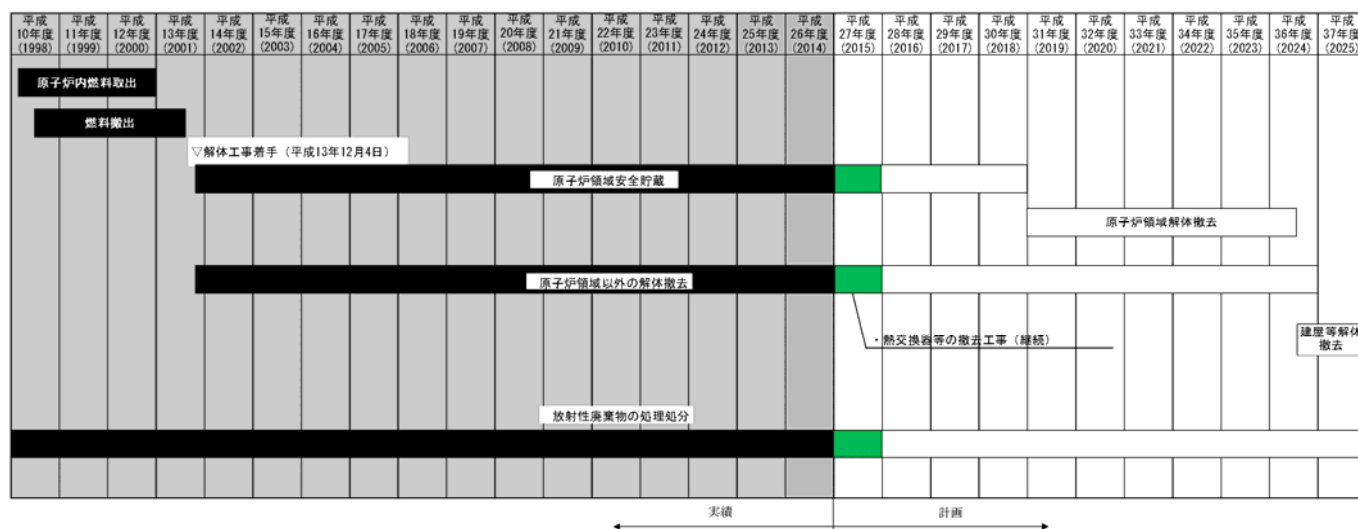
添付資料－4 東海第二発電所 安全対策設備の設置例
（炉心損傷防止対策例）

添付資料－5 東海第二発電所 安全対策設備の設置例
（格納容器破損防止対策・放射性物質
放出抑制対策例）

以 上

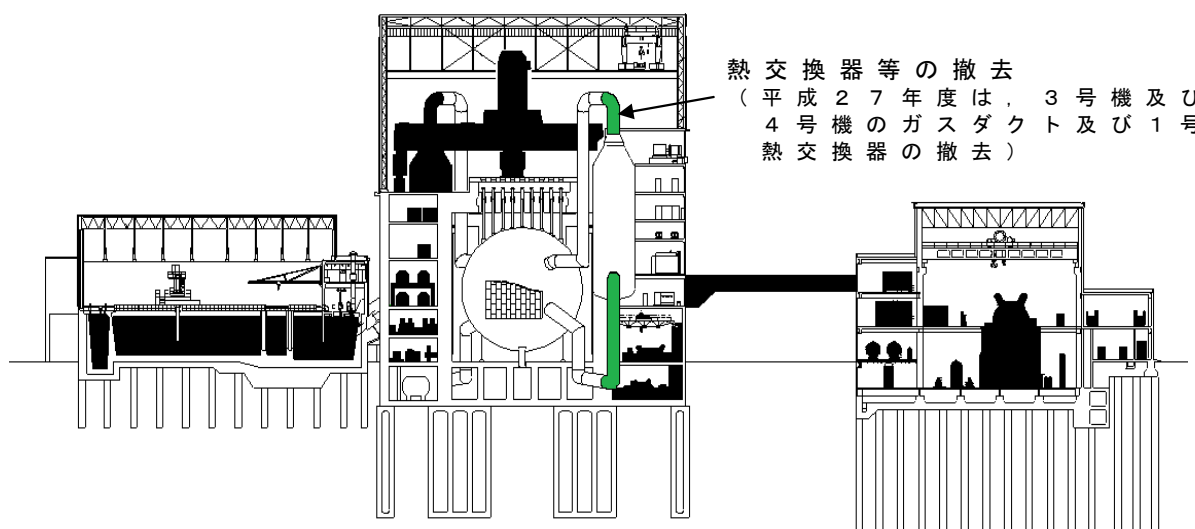
東海発電所 廃止措置実施状況

廃止措置工程



解体概念図

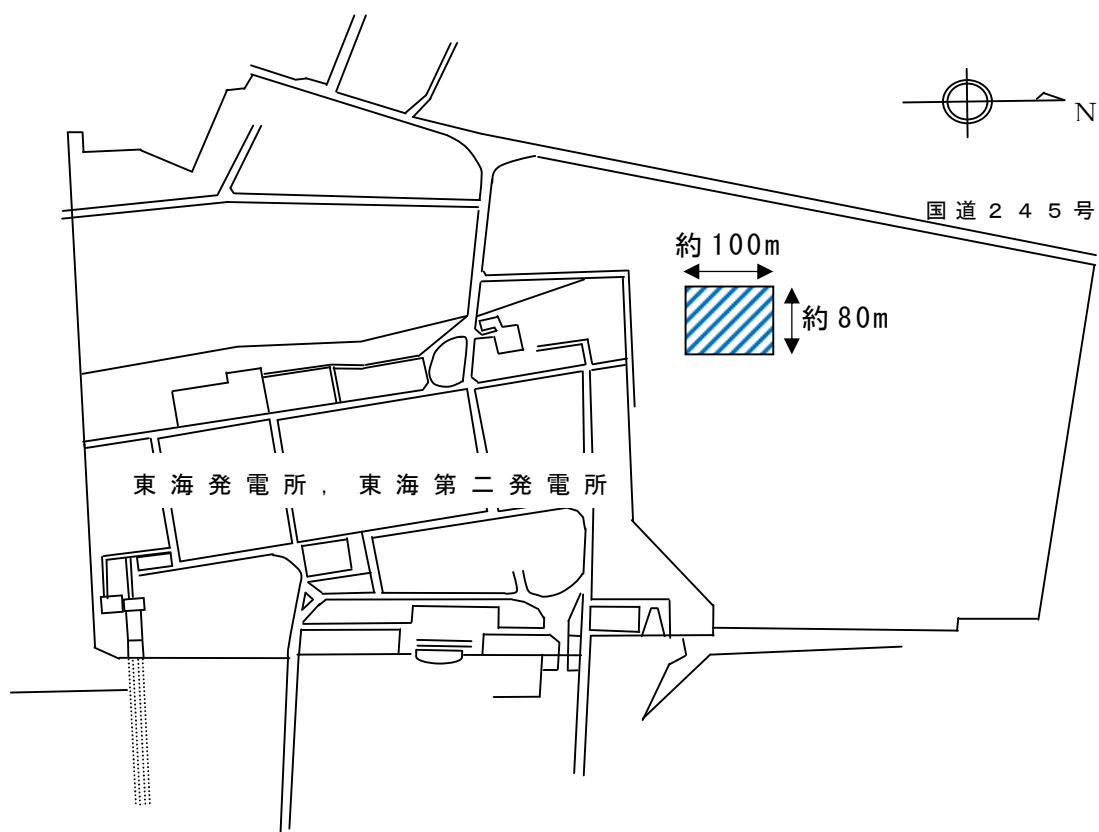
■：解体撤去対象 ■：解体撤去済み



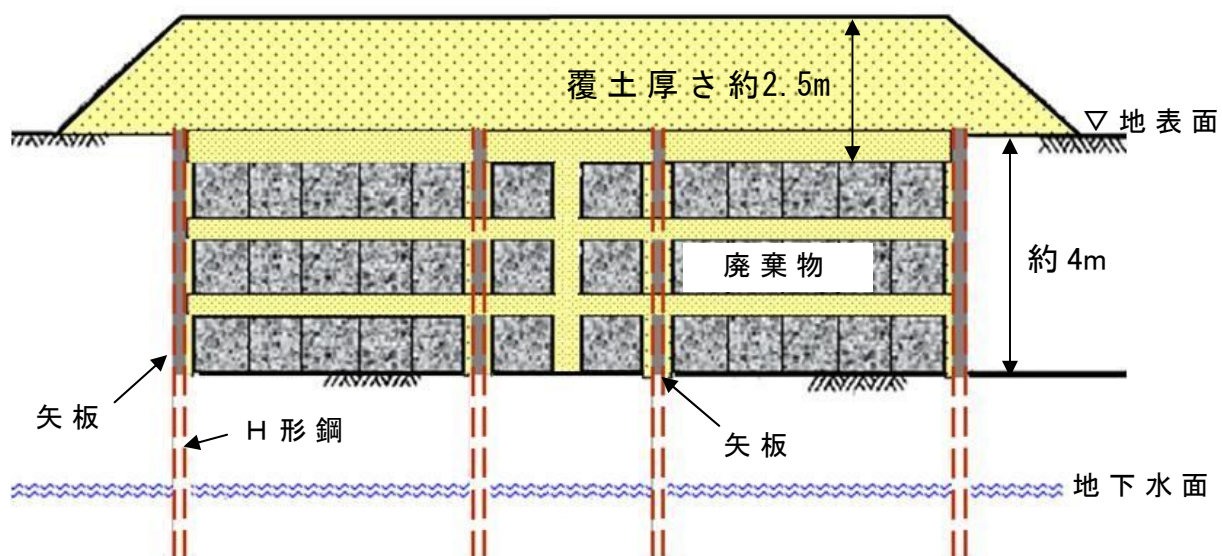
東海発電所 低レベル放射性廃棄物埋設施設概要

埋設事業許可申請 平成27年度（予定）

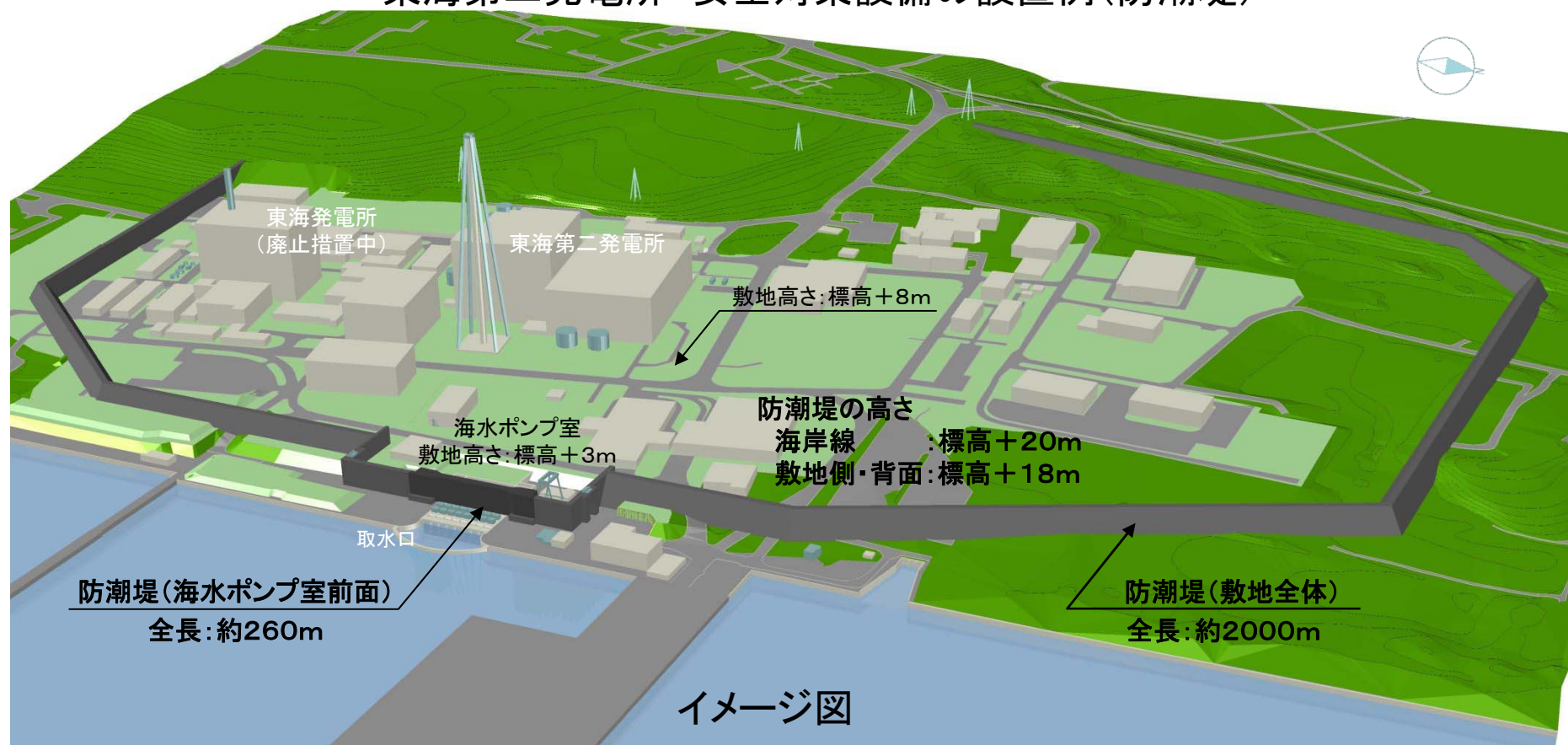
< 埋設施設候補地 >



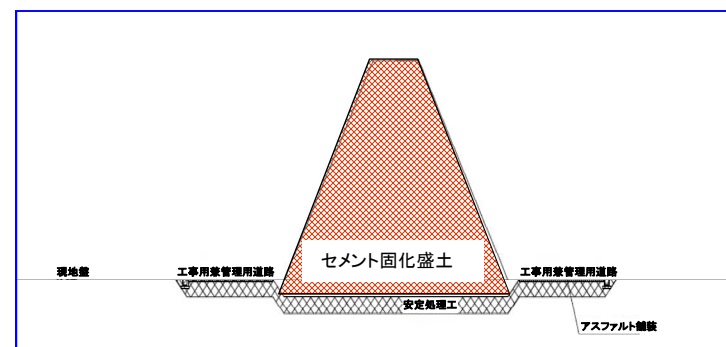
< 埋設施設断面概要図 >



東海第二発電所 安全対策設備の設置例(防潮堤)

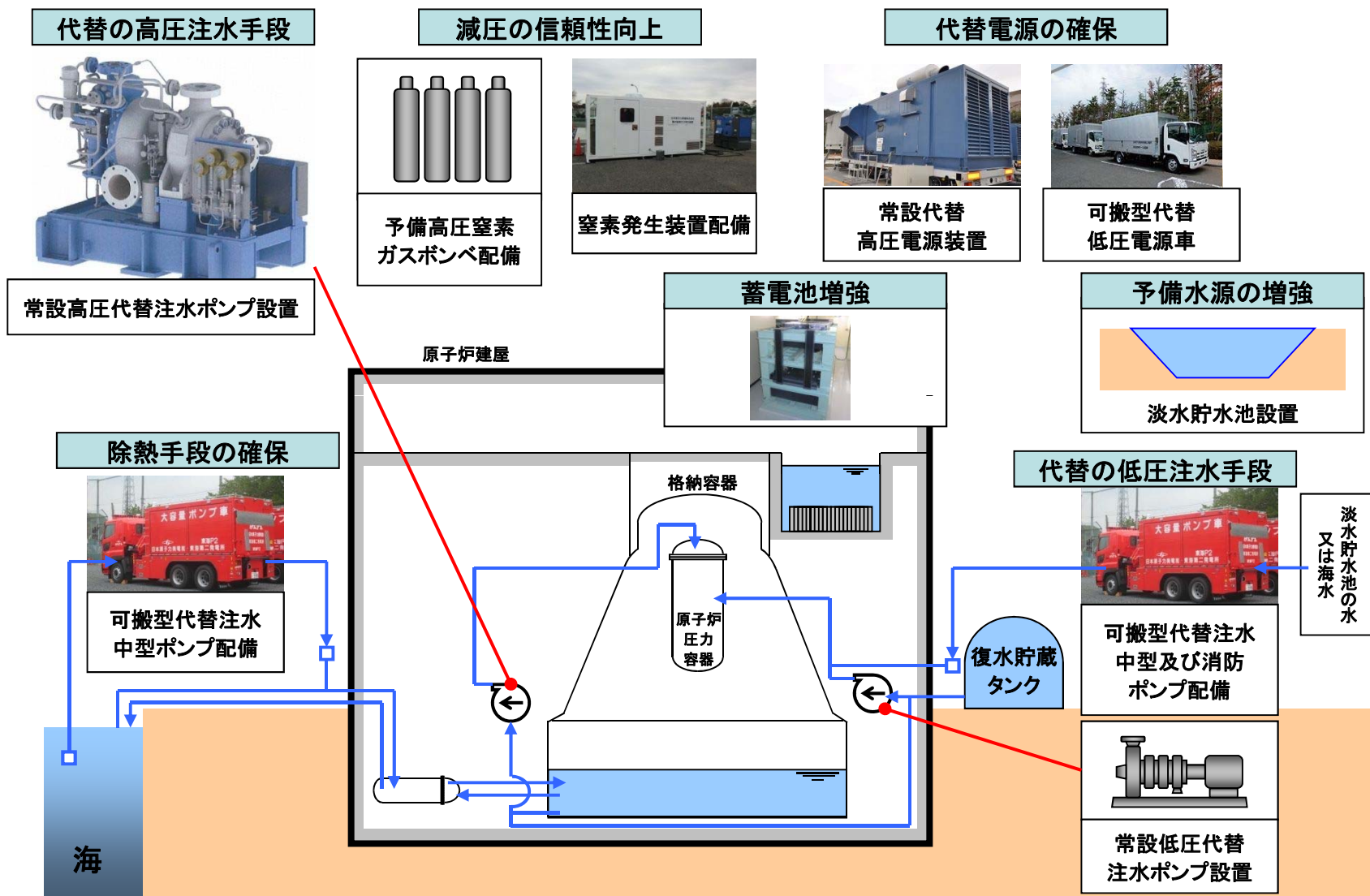


海水ポンプ室 前面イメージ図



敷地全体 断面イメージ図

東海第二発電所 安全対策設備の設置例 (炉心損傷防止対策例)



東海第二発電所 安全対策設備の設置例 (格納容器破損防止対策・放射性物質放出抑制対策例)

